

# 月刊 白民

中之島

Vol.10 2009 5/1

橋を渡る人の「街事情」マガジン

シマに花を  
咲かせましょ。

◎新連載スタート!  
久坂部 羊  
長友啓典  
バッキー井上  
(なんちゅうフリーペーパーや)



# 中之島バラ園

中之島の花と言えば？という質問があったならバラと答える人は多いだろう。

それもきっと、このシンボリックな存在があつてこそそのイメージ。

中之島公園のバラ園が、5月1日、リニューアルを経て再オープンします。

取材・文／大迫 力(本誌)

島民的に気になるのは「で、どう変わったの？」。というわけで早速、大阪市ゆとりとみどり振興局に話を聞いてみた。今回の工事で重視したのは「水辺との一体感」。たとえば難波橋の上から見下ろしてみて分かるが、川のすぐそばまで歩いていくことができるようになつた。レイアウトも立体的なものになるそうで、「川からの眺めも良くなると思いますよ」と聞けば、水上バスのアクアライナーに乗つて見てみるのもなかなかオツかもしれない。

また、品種もこれまでの約140種

5月1日、改修工事につきクローズしていた中之島公園内のバラ園が再オープンする。工事自体は今夏に開催される「水都大阪2009」をにらんでのものだが、1年間のブランクの間にも「早く見たい！」とのラブコールも多く、イベントに先駆けて一部に限り公開することを決めたという。

島民的に気になるのは「で、どう変わったの？」。というわけで早速、大阪市ゆとりとみどり振興局に話を聞いてみた。今回の工事で重視したのは「水辺との一体感」。たとえば難波橋の上から見下ろしてみて分かるが、川のすぐそばまで歩いていくことができるようになつた。レイアウトも立体的なものになるそうで、「川からの眺めも良くなると思いますよ」と聞けば、水上バスのアクアライナーに乗つて見てみるのもなかなかオツかもしれない。

から約280種へと一挙に倍増。バラと言えば膨大な品種改良の歴史を持つが、年代順に植えられるということで、バラファン（？）にとっては年表のようにも楽しめる。“職場の花”ではないけれど、オフィス街を彩るバラ園の再オープンで、いよいよ島も華やかになつてきた。



## 中之島 バラ園

昭和55年に中之島公園内に開設された。現在も工事は続いているが、一部に限り公開。入場無料。8月22日の「水都大阪2009」のスタートに合わせて、全面公開される予定。問い合わせ窓口 06-6312-8121

難波橋から東を見渡すこんな感じ。現在はまだ工事中だが、確かに水辺との距離が近づいている気がする。アクアライナーもほら、すぐそこに。



一時閉園する前に撮られたバラ園の様子。こんな風に咲き誇るバラたちが、さらにバージョンアップして戻ってくると想像すると待ち遠しい。

## 「不可能の代名詞」青いバラを花開かせた島民企業。

堂島に本社を置く島民企業であり、日本を代表する洋酒メーカーであるサントリーは、そのバイオ技術を活かした花の会社でもある。1980年代後半に花の研究開発を始めた同社が挑んだのは、800年に及ぶ品種改良の歴史の中でも実現されず、「不可能の代名詞」といわれた青いバラ。パンジーから取り出した青色遺伝子を用い、デルフィニジンという色素をバラに蓄積できるよう試行錯誤。約15年を経て、ついに2004年、涼やかなエレガントな青いバラを世界で初めて咲かせることに成功した。その過程で青いカーネーション「ムーンダスト」の開発・商品化にも成功。『やってみなはれ精神』が花開かせた青いバラは、いよいよ今年秋に一般発売の予定である。



### バラに囲まれて優雅にお茶。島の迎賓館の恒例行事。

リーガロイヤルホテル(大阪)で恒例のバライベントがあるのをご存じだろうか。その名も「薔薇祭」。ホテル内の3軒の花店が協力して行うもので、回を重ねること33回、年に1回の開催だから、なんと本家のバラ園よりも歴史は古いのである。ホテル内のブティック街「パレロイヤル」の中にバラに囲まれたカフェが出現、「毎年、楽しみにしておられる方も多い」(ホテル担当者)。そう。今年は「英國の薔薇」がテーマとのことで、シェイクスピアにちなんだバラが多く見られるという。ちなみにホテル内のバラ専門店「コアンドローズ」の先代は、中之島公園のバラ園の設計に携わるなど、島のバラシーンをリードするロイヤルであった。5月13日(水)~17日(日)11:00AM~8:00PM ☎06-6448-1121(代)



## 嗚呼、バラ色の中之島

中之島の華麗なるエピソードはバラ園だけに収まりきらない。  
まさしくバラは中之島のシンボルとして咲き誇っていると言えよう。

文／大迫力 松本創 溝口さやか(以上本誌)



### 小径の脇の喫茶室には、バラ土産がよりどりみどり。

バラ園への西の入口は鉢流橋のたもと。「バラの小径」と呼ばれる道が川沿いに延びているが、それに面してお茶を楽しめるのが東洋陶磁美術館のティールーム【サロン】だ。こちらではバラゼリーやバラジュースなど、バラ園にちなんだメニューがあることは以前本誌でもお伝えしたことがある。しかし、バラにまつわる品々はこれに留まらない。まずはローズジャム。花びらを煮詰めて作ったもので、原産地のブルガリアでは古くから健康食品として愛されているらしい。紅茶に入れるもし、アイスクリームやパンとの相性もいいのだそう。バラの香りにはリラックス効果もあるそうで、入浴剤やアロマテラピー用のローズオイル、ルームスプレーなどにも使えるローズウォーターなど、まさに百花繚乱。美しい姿の余韻に浸るためにお土産にどうぞ。

東洋陶磁美術館ティールーム サロン  
バラジャム320g・1,365円、ローズオイル2,520円、ローズウォーター1,300円。  
お土産にはさらにバラジュース250ml・320円や紅茶葉500円なども。☎06-6226-4176 10:00AM~5:00PM 月曜休(美術館休館時も営業)

## 100万人の花さか爺さん? 「100万本のバラの会」。

「世界バラ会議大阪大会2006」をきっかけに、大阪をバラの似合う美しい街にしよう!と発足された「100万本のバラの会」。大阪に住む人、働く人たち100万人に1人100円の募金を呼びかけ、土佐堀川は淀屋橋から肥後橋まで、堂島川は渡辺橋から田養橋までの遊歩道に植えられたバラはなんと260株!「中之島バラ回廊」と名付けられたこの遊歩道には、鮮やかな赤い花を咲かせる「だんじり離子」という品種をはじめ30種類がそろそろ見頃を迎える。川沿いの風景に花を添えてくれそうだ。



### 実録! 花屋さん養成所

#### 大阪ビジネスカレッジ 専門学校

堂島川をのぞむ教室からは中之島を一望。ファッショ、スポーツ、美容、ベットなど、時代を映す10学科25コースある専門学校。1年制のフランチャイズ専門学科も開講。☎0120-79-2299 [www.abc.ac.jp](http://www.abc.ac.jp)

【花嫁修業にお花でも】のレベルじゃない。生花店からブライダル、フューネラル(葬儀)まで、  
フランチャイズへ人材を送り込む学校が、中之島周辺に2つもあった。

取材文／若狭健作(以上本誌)



### フリー業界の「いろは」を学ぶ。



堂島川をのぞむ校舎では体験入学会が開かれていた。大阪ビジネスカレッジ専門学校フランチャイズ専門学科では2年制でフランチャイズ業界のいろはを学ぶ。この日体验会のアシスタントを務めた2年生の向井友美さんは「花の仕事はこの先もなかなかないだろうなあとthought」とシマの専門学校を選んだ。週5日の授業は、フリー技術やアレンジや華道はもちろん、社会人に必要なパソコン技術やデータ入力まで。デッサンの授業はバラ園で、

というのも中之島ならではだ。  
「月9のドラマで花屋さんが主人公の時は、出願が一気に増えましたよ」といふ講師の井上和美さん。きっと最後の学生は手に職をつけたい」というプロ志向が強くなっているのだと。アレンジや華道はもちろん、「花の業界は不況に強い。冠婚葬祭のほか、これからは高齢社会で暮らしに花がもっと取り入れられるはず」と学生たちにはつぶやをかける。

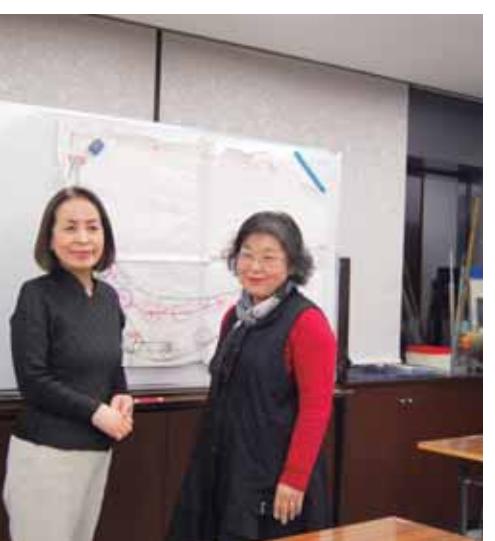


### 高みを目指す、数少ない職業訓練校。

東天溝には、花のプロたちが通う学校がある。「大阪府フランチャイズ専門学校」は全国で3ヵ所しかない花の職業訓練校の一つだ。こちらは生徒のほとんどが実務経験2年以上、20代から60代まで、遠くは岡山や四国からも、花のプロたちが週1日4時間の授業に通う。仕事の合間にぬつてきているだけに気合いは十分。

「日々の仕事と検定試験は要領が違つけれど、基本を改めて学べていい勉強になつています」という生徒さん。大企業に勤める人も地方の小さな花屋さんも、机を並べてフラワードミッションで、装飾技能検定の合格を目指す。講師の木之下純子さんは「共通の目標があるからものすごく団結するみたい」という。同業者の仲間づくりにも一躍貢つているようだ。「そういえばここで出会つて結婚したカップルもいたわ。今は一緒にお店をしていくみたい」。検定結果にサクサク咲くだけでなく、恋の花も咲いたようだ。

なつています



### 大阪府フランチャイズ専門学校

昭和60年に大阪生花商業協同組合が開校。大阪の生花業界をあげて次世代の人材育成のために作ったカレッジは4月入学と9月入学。一般社会人向けの大坂フランチャイズスクールも併設。☎06-6135-1587 [www.e87-osaka.jp](http://www.e87-osaka.jp)



# 始 ま は た



サトウ花店

大阪市内や北摂・阪神間のホテル、百貨店などに17店を展開。島民エリアでは、建て替え工事中の新しいダイビルに移る予定の本店のほか、堂島のABC前にある本社売店がある(P8)。本店☎06-6443-9161 8:30AM~8:00PM(土・日曜~7:00PM) 無休



お祝いや記念日に花を贈つたり、フーラードデザインで華々しく空間を飾つたりする洋花の文化は、中之島で花開いた。種をまいたのはダイビルに本店を構える「サトウ花店」。昨年80周年を迎えた西日本初の洋花専門店である。

若い頃に世話を任せられた温室でバラやランに出会った創業者の佐藤魏氏が、独立して店を開いたのは昭和3年(1928)。とはいへ花といえば仏花や華道といった「和」の時代。戦争もあって当初は小さな商店だった。

転機は終戦後。ダイビル近くにあつた新大阪ホテル(現・住友中之島ビル)が進駐軍の施設となり、幹部たちのパ

ーティーが頻繁に開かれるようになる。

ラザが福島にオープンし、すごく忙しかった記憶があります。花博の前後も

5階にあつた大きな宴会場の飾り付け

や、出席者が身に付けるコサージュの

注文が相次ぎ、見様見まねでアレンジ

を工夫するうちに技術を磨いていった

ようです」と、創業者の娘さんである

同社の現会長。佐藤氏は、日本におけ

る花も実もある「シマの老舗、

ムに贈る花もその一種だろうか。取材



佐藤 魏 (1907~1983)  
運搬用保冷車や、全国の同業者と協力して設立した花の配達システム(花キューピット)など、さまざまな“発明品”も。なかでも、通行人のフラワークリーパーは、タクシーが観光客を乗せてわざわざ見せにくるほどだったとか。

# 中 之 島 か ら



花も実もある「シマの老舗、  
【サトウ花店】@ダイビル。

取材・文／松本創(本誌)



中にもどこかの会社の役員と思しき紳士が部下を連れて、胡蝶蘭を求める場面に出くわした。

花の需要はホテルの増加とともに伸びる。大阪では1970年の万博、次いで90年の花博の頃だ。「私の入社前年にホテルブ

ラザが福島にオープンし、すごく忙しかった記憶があります。花博の前後も華やかな洋花文化は奥様方だけでなく、実は、中之島に集まる紳士たちが担ってきたのかもしれないと思わせる、老舗の歩みなのである。

法人需要だけでなく、もちろん個人の利用も多い。5月は「母の日」のキャンペーン中、各店のスタッフがさまざまなアレンジを提案している。

# 洋 花 文 化 は

# 百花繚乱 シマの花店

「犬も歩けば花屋にあたる」ぐらい中之島には花店が多い。しかも、それぞれに「得意技」を持つている。様々な業界が集まるために企業需要の幅も広いし、お見舞いや北新地方方面へのプレゼントなど、花を贈る機会もシチュエーションも多種多彩。

取材・文 溝口さやか(本誌)

【アトリエK】  
高山美月さん(32)



Q.お客様は?  
淀屋橋界隈の会社の方が多いです。  
Q.一番人気は?  
バラ。1輪でも存在感があるのでオフィスも明るくなるからでしょうね。  
Q.店の自慢は?  
オーナーが無類のバラ好きなので30種類くらいは日替わりで揃えてるんです。花びらが1枚1枚違う色のレインボーローズやラメ付きという珍しいものもあって、それを1輪だけ贈るという粋な方もいらっしゃいますよ。  
Q.淀屋橋の印象は?  
駅前にオープンしてちょうど1年なんですが、送別やお祝いに会社で花を贈る習慣が残ってるのはさすがだなと思いますね。

☎06-6227-4143  
10:00AM~8:00PM(日・祝~7:00PM) 無休

【La Mattina】  
下田由香利さん(34)



Q.お客様は?  
住友病院の看護士さんやお見舞いの方など。  
Q.一番人気は?  
輸入もののバラとアジサイ。国産にはない淡い色合いで、華やかだけど派手すぎず、お見舞いにちょうどいいんです。  
Q.店の自慢は?  
国産とは違った咲き方をする丈夫な輸入ものが多いこと。美人は3日で飽きると言いますが、個性的なので見飽きることがないんですよ。  
Q.中之島の植物は?  
土佐堀川は日当りもよく生命力のある植物が多い。島民を元気にしてくれるいい環境ですね。うちのお店でもスタッフ総出でツタを採取に行ってますよ(笑)

☎06-6443-1192  
11:00AM~7:00PM 日曜休



Q.お客様は?  
北浜にお勤めのOLさんが多いです。  
Q.一番人気は?  
バラですね。ブーケにも映えるので濃いもの。  
Q.店の自慢は?  
ロンドンの王室からも注文のあった花店で1年半働いていたんですが、そこでは色の鮮やかな花を多く扱っていてとてもシブかったです。そのスタイル+遊び心でレタスやフルーツを使ったアレンジメントなんかも作ってます。  
Q.北浜での工夫は?  
北浜らしい築80年のこのビルにひと目惚れしてオープンしたので、キャンドルや花器に飾るアクセサリーなど、その雰囲気に合うような落ちついたものを揃えています。

☎06-6233-8060  
11:00AM~8:00PM(土曜~6:00PM) 日・祝休



Q.お客様は?  
天満橋は住宅が多いので近所にお住まいの方が多いですね。  
Q.一番人気は?  
バラですね。ブーケにも映えるので濃いもの。  
Q.店の自慢は?  
全国にあるチェーン店で春と秋に「ばらまつり」というのを一斉に開催するんですけど、この期間は常連さんがうなるほどバラの品種がいつも以上に増えます。  
Q.店の自慢は?  
プライスカードにその花の産地を明記しています。スタッフも直接生産者のところへ行って社会見学させてもらったりするんですよ。

Q.中之島効果は?  
京都へも中之島へも天満橋が経由地点になって週末は花が咲いたようにたくさんの人で賑わいます。  
☎06-6944-3187  
10:00AM~8:00PM 不定期

【FLORIST HIROKO】  
千葉弘子さん(36)



Q.お客様は?  
プライダルサロンを兼ねているので、結婚式を演出するお花をお求めの方が多いです。  
Q.一番人気は?  
化学処理で生花に近い質感にしたプリザーブドフラワー。きれいなまま半永久的に想い出と一緒に残せますよ。  
Q.店の自慢は?  
プリザーブドフラワーは色が豊富。サンプルを壁一面に揃えていますから、微妙な色具合も選んでもれます。オリジナルも作れますよ。

☎06-6226-8899  
9:00AM~7:00PM 無休



【Richewm】  
宮本一茂さん(38)

Q.お客様は?  
多いのは近所のOLさんです。  
Q.一番人気は?  
黄色の花のミモザとか、小さくて可憐なもの。  
Q.店の自慢は?  
マツリカというジャスミンの鉢植。よく出回っているのは鑑賞用だけど、うちのはちゃんと育てて食べられるんです。会社の窓辺で育ててお昼休みにジャスミンティーでリラックスというのもアリですよ。  
Q.会社で育てるには?  
忙しいOLさんでも育てやすいものを揃えてます。ポイントは暖かくお天気がいい日は水やりを屋外で20~30分水を切ってから部屋に戻すと元気に育ちますよ。

☎06-4797-9221  
11:00AM~8:00PM 日・祝休



【ANTIQUE BOUQUET】  
萩原紫野さん(29)

Q.お客様は?  
堂島ホテル地下にお店があるので、ご結婚されるカップルと市内にお住いのOLさん。  
Q.一番人気は?  
バラ。プライダルに華やかさは欠かせません。  
Q.店の自慢は?  
市場に出回らないバラを契約バラ園から直接仕入れてるので、質の高いものはもちろん、まだ名前の付いていない新しいバラが入ることもあるんですよ。  
Q.堂島ホテルでの工夫は?  
堂島は先物取引発祥の地で先見性のある街。うちも常に新しい視点を取り入れていきたいので、休日は山に入って花や植物を観察しに行ってます!

☎06-6341-3461  
10:00AM~8:00PM(日・祝~7:00PM) 無休



【ANTIQUE BOUQUET】  
萩原紫野さん(29)

Q.お客様は?  
法人のお客さんが多いですね。中之島店では切り花、こちらは鉢ものと棲み分けています。  
Q.一番人気は?  
バラや百合のような、大輪だけど清楚なたたずまいのもの。弁護士事務所だと雰囲気も大事ですからね。  
Q.店の自慢は?  
事務所の開業や移転祝いに胡蝶蘭はよく出ますね。観葉植物では幸福の木がよく売れる。  
Q.店の自慢は?  
屋上に観葉植物を多く揃えていること。定期的に沖縄や鹿児島から取り寄せて、社員一同で世話をし、日当りの調整もします。2階は胡蝶蘭専用で、家庭用の小ぶりな鉢や、一見桜のようなものもあって個性豊かですよ。  
Q.お店の周辺は?  
この辺りは画廊やギャラリーも多いので仕事の合間に遊びに行きます。陶器のお店に入るとな観葉植物とのマッチングを考えてしまいますね。同じ品種でも個性はそれですから。

☎06-6363-8711  
10:00AM~7:00PM(土曜1:00PM~) 日・祝休



【ANTIQUE BOUQUET】  
萩原紫野さん(29)

Q.お客様は?  
裁判所が近いので弁護士事務所の方が多いです。  
Q.一番人気は?  
法人のお客さんが多いですね。中之島店では切り花、こちらは鉢ものと棲み分けています。  
Q.一番人気は?  
バラや百合のような、大輪だけど清楚なたたずまいのもの。弁護士事務所だと雰囲気も大事ですからね。  
Q.店の自慢は?  
オーブンして半年なのでまだあまり知られていませんが、観葉植物なら一般に手に入りにくいレアなものでも独自のルートで探しますよ。  
Q.お店の周辺は?  
この辺りは画廊やギャラリーも多いので仕事の合間に遊びに行きます。陶器のお店に入るとな観葉植物とのマッチングを考えてしまいますね。同じ品種でも個性はそれですから。

☎06-6458-1120  
9:00AM~8:00PM(日・祝~7:00PM) 無休



【ANTIQUE BOUQUET】  
萩原紫野さん(29)



【Andromeda】  
津志本周さん(60)

Q.お客様は?  
60年前に自宅でバラを育て始めた頃からのお客さんが多いです。その方たちの後押しでリーガロイヤルさんとのご縁もできました。  
Q.一番人気は?  
洋蘭とバラは不動の人気やね。最近は不況やから小振りのものもよう出るけど。

Q.店の自慢は?  
近所の会社の人もよう来てくれるから品種を多くしてます。クラブに飾る花と会社に飾る花はやっぱり違うからね。北新地に4店舗あるから切り花でも鉢植えでも応えられるように。  
Q.北新地ならではと言えば?  
北新地で55年ほど営業していると高級クラブのママから「うちには戸澤さんに任せたわ」とか従業員それぞれが指名もろてた頃もあった。最近はそういうお店が少なくなって寂しいわ。

☎06-6448-7030  
10:00AM~8:00PM 第2木曜休



【Grindel】  
伊藤陽子さん(35)

Q.お客様は?  
裁判所が近いので弁護士事務所の方が多いです。  
Q.一番人気は?  
法人のお客さんが多いですね。中之島店では切り花、こちらは鉢ものと棲み分けています。  
Q.一番人気は?  
バラや百合のような、大輪だけど清楚なたたずまいのもの。弁護士事務所だと雰囲気も大事ですからね。  
Q.店の自慢は?  
事務所の開業や移転祝いに胡蝶蘭はよく出ますね。観葉植物では幸福の木がよく売れる。  
Q.店の自慢は?  
屋上に観葉植物を多く揃えていること。定期的に沖縄や鹿児島から取り寄せて、社員一同で世話をし、日当りの調整もします。2階は胡蝶蘭専用で、家庭用の小ぶりな鉢や、一見桜のようなものもあって個性豊かですよ。  
Q.お店の周辺は?  
この辺りは画廊やギャラリーも多いので仕事の合間に遊びに行きます。陶器のお店に入るとな観葉植物とのマッチングを考えてしまいますね。同じ品種でも個性はそれですから。

☎06-6363-8711  
10:00AM~7:00PM(土曜1:00PM~) 日・祝休



【Grindel】  
伊藤陽子さん(35)

## 中之島の 緑化のカギは 屋上にあり!?

大阪の都市部においては、比較的緑が多いとされる中之島。専門家の目にはどんな風に映っているのだろうか。

中谷さんは、先述の大坂市役所屋上の庭園に棲息する生きものについての調査を行っている。そもそもこの屋上緑化は、都心部におけるヒートアイランド現象の抑制のために始まった。草花は和歌山県から持ち込まれたが、大坂市内にはいなかった生きものでも、3年程度なら生きられることなどが分かっているという。

そんな自然に関するスペシャリストの目には、中之島の緑はまだまだまばらと映るようだ。「中之島の緑は管理されているものが多く、まとまって生えている印象がない。線として繋がっているが、いろんな種類の植物が豊かに育っているとは言いにくい」。

緑は多いに越したことはないが、都心部であり生えるに任せるわけにもいかず、かといって新たに緑を増やせる場所があるかと言えばそうでもない。そこで、市役所のようなビルの屋上緑化が有効ではないかと指摘する。「今までしていなかったところを緑化するという、ある意味では苦肉の策なんですね。それでも、市役所だけでは少なくとも、周りに増えていけばまとったものになりますよね」。植物が安定して育てばそこに居着いてくれる昆蟲が増え、それを目当てにやってくる野鳥も増えるという。すると、中之島の風景も少しずつだが変わってくるかもしれない。

「滲つくしの鐘の周りには植栽があるのですが、そこにはずいぶん前からミノムシがいるんですね。ミノムシのメスはずっとミノの中で暮らすので、オスはどこから飛んできていることになる」。ミクロな話ではあるが、中之島を気に入ってくれる島民が増える可能性も、屋上緑化は秘めているようだ。



大坂都心部の水辺を爛漫と咲く桜並木で飾ろうというプロジェクトがある。建築家の安藤忠雄氏らが呼びかけ、4年前に始まった「桜の会・平成の通り抜け」。

水都の顔たる中之島はその中心だ。八軒家浜、中之島公園、ほたるまち南の福島浜緑道などに、これまで300本以上が植えられた。

植樹を支えたのは市民の募金。一口

1万円と決して安くはないが、当

初目標の4億5000万円を輕々と上

回り、募金期間を1年早く打ち切った

ほど。植樹本数も1000本から30

00本に増え、エリアも広げた。名

前がプレートに刻まれ、「俺の桜」を持

てるのが人気の一

因だったが、本誌

2号に登場した安藤忠雄氏は「中之島の橋や公会堂も寄付

で造られた。これが大阪市民の遺伝

子です」と、大阪の寄付文化、つまり「

那イズム」の表れだと語っていた。

新たに植えられた桜はまだ若く、枝

ぶりも質素。通り抜けができるほどどの

並木道になるには10年はかかりそうだ

今からその日が待ち遠しい島のフラワ

ームーブメントである。

162 360 258 374

162 374 258 388

162 388 258 402

162 402 258 416

162 416 258 430

162 430 258 444

162 444 258 458

162 458 258 472

162 472 258 486

162 486 258 500

162 500 258 514

162 514 258 528

162 528 258 542

162 542 258 556

162 556 258 570

162 570 258 584

162 584 258 598

162 598 258 612

162 612 258 626

162 626 258 640

162 640 258 654

162 654 258 668

162 668 258 682

162 682 258 696

162 696 258 710

162 710 258 724

162 724 258 738

162 738 258 752

162 752 258 766

162 766 258 780

162 780 258 794

162 794 258 808

162 808 258 822

162 822 258 836

162 836 258 850

162 850 258 864

162 864 258 878

162 878 258 892

162 892 258 906

162 906 258 920

162 920 258 934

162 934 258 948

162 948 258 962

162 962 258 976

162 976 258 990

162 990 258 1004

162 1004 258 1018

162 1018 258 1032

162 1032 258 1046

162 1046 258 1060

162 1060 258 1074

162 1074 258 1088

162 1088 258 1102

162 1102 258 1116

162 1116 258 1130

162 1130 258 1144

162 1144 258 1158

162 1158 258 1172

162 1172 258 1186

162 1186 258 1199

162 1199 258 1213

162 1213 258 1227

162 1227 258 1241

162 1241 258 1255

162 1255 258 1269

162 1269 258 1283

162 1283 258 1297

162 1297 258 1311

162 1311 258 1325

162 1325 258 1339

162 1339 258 1353

162 1353 258 1367

162 1367 258 1381

162 1381 258 1395

162 1395 258 1409

162 1409 258 1423

162 1423 258 1437

162 1437 258 1451

162 1451 258 1465

162 1465 258 1479

162 1479 258 1493

162 1493 258 1507

162 1507 258 1521

162 1521 258 1535

162 1535 258 1549

162 1549 258 1563

162 1563 258 1577

162 1577 258 1591

162 1591 258 1605

162 1605 258 1619

162 1619 258 1633

162 1633 258 1647

162 1647 258 1661

162 1661 258 1675

162 1675 258 1689

162 1689 258 1703

162 1703 258 1717

162 1717 258 1731

162 1731 258 1745

162 1745 258 1759

162 1759 258 1773

162 1773 258 1787

162 1787 258 1801

162 1801 258 1815

162 1815 258 1829

162 1829 258 1843

162 1843 258 1857

162 1857 258 1871

162 1871 258 1885

162 1885 258 1899

162 1899 258 1913

162 1913 258 1927

162 1927 258 1941

162 1941 258 1955

162 1955 258 1969

162 1969 258 1983

162 1983 258 1997

162 1997 258 2011

162 2011 258 2025

162 2025 258 2039

162 2039 258 2053

162 2053 258 2067

162 2067 258 2081

162 2081 258 2095

162 2095 258 2109

162 2109 258 2123

162 2123 258 2137

162 2137 258 2151

162 2151 258 2165

162 2165 258 2179

162 2179 258 2193

162 2193 258 2207

162 2207 258 2221

162 2221 258 2235

162 2235 258 2249

162 2249 258 2263

162 2263 258 2277

162 2277 258 2291

162 2291 258 2305

162 2305 258 2319

162 2319 258 2333

162 2333 258 2347

162 2347 258 2361

162 2361 258 2375

162 2375 258 2389

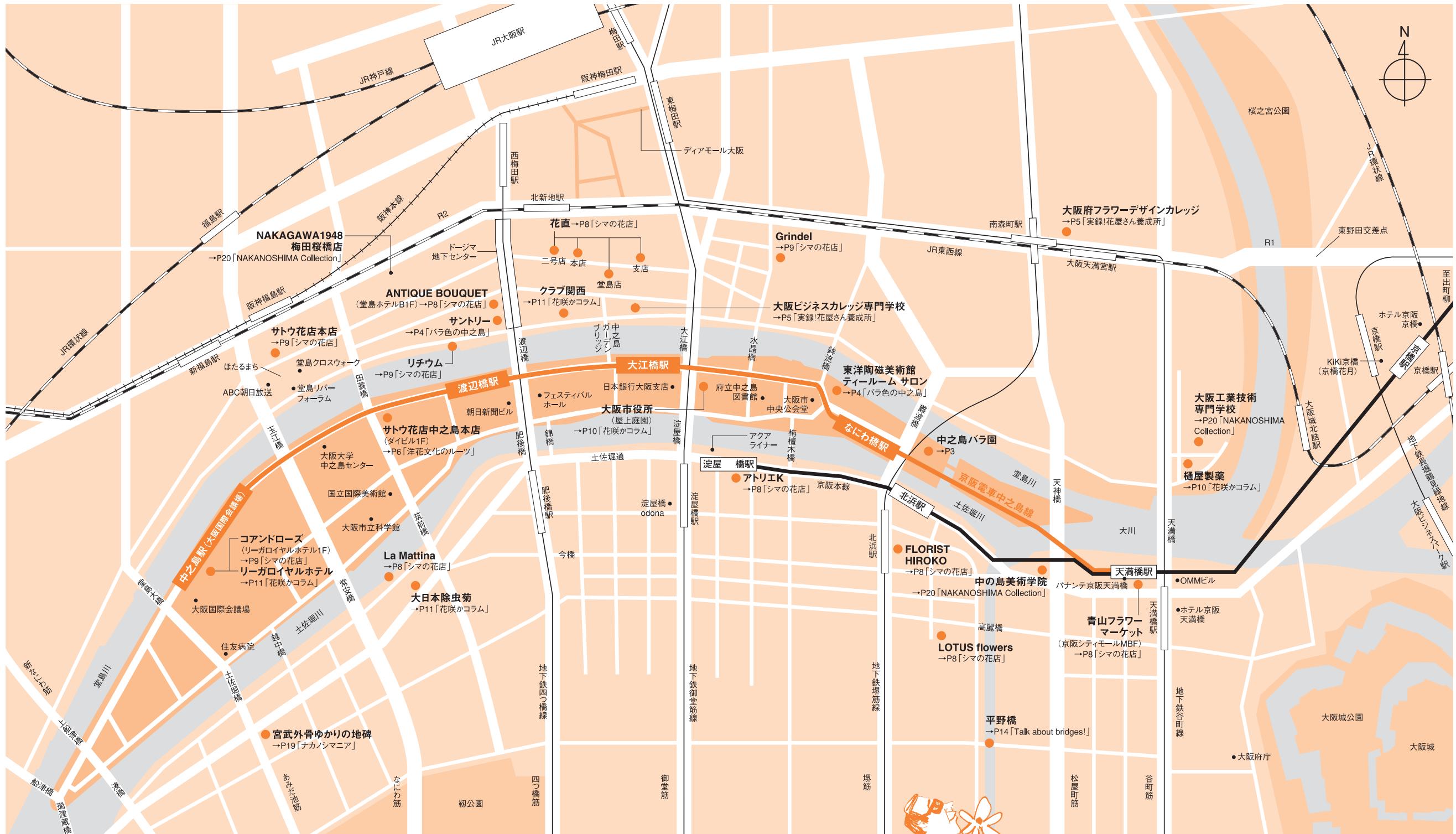
162 2389 258 2403

162 2403 258 2417

162 2417 258 2431

162 2431 258 2445

162 2445 258 2459



# 大「島民」MAP

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、みんな「島民」です!



# 平野橋

文/ばむ企画  
絵/網本武雄(本誌)

桂 東横堀川と道頓堀川には合流式下水道の吐き出し口があるから雨が多いと臭くなっちゃうんだって。

み江 セーヌ川と同じでいいんじゃない川が臭いのも文化。

桂 そうはいかんと松屋町通の地下に、大掛かりな下水処理の装置がつくられているようですが。

み江 水都大阪、がんばってるなあ。桂 平野橋と高麗橋の間に鋼鉄製のメカニックなゲートが横たわっているでしょ。あれは2001年にできた水門で、河川浄化に役立てるんだって。

み江 ああ、なんか強そつなやつがいるなあと。で、肝心の平野橋の話をしないでいいのかね?

桂 :失礼しました。平野橋は強そうな高速道路や強そうな水門に囲まれて地味に見えますが、けつこう華があるんですよ。特に桁下の構造体。

み江 うわー、よりによつてものすごく地味なところが来たよ。

桂 この橋は、日本初の逆ランガーアーチ橋、というのが売り。分厚い桁と繊細な桁下の鋼アーチでできた橋です。

み江 桁下のアーチ、華奢でてきた。

桂 見た目優先で選ばれた構法だそう。逆ランガーアーチは鋼材をたくさん必要とする方法なんですが、経済性より景観への影響を優先する、という判断でこいつになつた、と。まわりにコンクリートアーチ橋が多いことも採用の

平塚 桂(以下、桂) 今回は東横堀川沿いの橋をひとつ見てみましょう。たかぎみ江(以下、み江) 東横堀川つてどこだっけ?

桂 中之島の南東の土佐堀川から道頓堀川にかけて流れる運河です。秀吉さんが造ったもので、大坂城の外堀を兼ねて築城開始2年後の1585年に開削と、大坂城下では最初にできた運河らしいよ。防衛と水運の便を兼ねて。そして江戸時代には商都・大坂の大動脈として活躍。

桂 出た! 大阪名物、水運の歴史。堀川の運河埋め立てラッシュに生き残つた、しぶといヤツなんです。み江 歴史が長い割には、ちょっと存続感が薄いかも。

桂 上空が阪神高速の通り道になつてから、目に入りにくいね。

み江 高速うんぬん以前に、川自身があまりキレイじゃない気もするけども。桂 それを言つてくれるな、と。これでもキレイになつたそうですよ。

み江 そんなんですか!?

きつかけになつたみたい。

み江 昭和10年完成か。数年後には戦争で橋の欄干や照明を供出するような時代がくるわけだから、奇跡のようなタイミングだね。

桂 大阪にいっぱい橋がうまれた昭和初期というのは、ちょっととした橋バブルの時代だったようにも見えるけど、技術とデザインを高いレベルで融合していく、いいよねえ。

み江 当時の橋は、今でも使われているものが多いよね。こうしてみると、バブルも悪くないな、と。

桂 ほむきかくたかぎみ江、平塚桂の2人による建築ライターユニット。「カーサ・フルータス」ほかの雑誌にも執筆。「けんち家対決」や「けんちく雑誌ガイド」など、独断と偏見に満ちたコンテンツの溢れるHPも必見。

\*1 合流式下水道 汚水が雨水とともに下水管に入る下水道。大阪市では主流の形式。雨天の際には下水処理しきれず、汚水が東横堀川や道頓堀川などに流れてしまう問題がある。

\*2 セーヌ川と同じ 中之島が手本にしたパリにおける重要なアーチ橋。19世紀には下水道が普及したパリだが、汚水はセーヌ川へそのまま流れてしまった。現在は処理場を通している。

\*3 水都大阪 今年は「水都大阪2009」として様々な企画がある。中之島周辺に加え東横堀川や道頓堀川でもクルーズやライトアップが予定され、橋ウォッチも楽しめそうだ。

\*4 逆ランガーブラッジ ひと続きの分厚い桁が主構造で、桁下のアーチが補助的に垂直方向の力だけを負担する形式。桁への負担が大きくなるので岸の地質がよくないと使えない方法。

ひらのばし

## 平野橋

1935年完成。東横堀川に架かる、大阪市中央区の橋。高麗橋と大手橋というコンクリートアーチ橋に挟まれ、繊細な架構が映える。世界的にも珍しい特殊な構造は大阪市橋梁課の技師、堀威夫の肝いりで設計された。幅11m、全長62.5m。



私は生まれも育ちも大阪・堺なので、中之島には小さいころから何度か来ている。そのなかで自分で足を踏み入れたことをはつきり記憶しているのは、大学受験の願書を取りに来たときのことだ。

そのときは、地下鉄四つ橋線の肥後橋駅で下り

地下道をつて、朝日新聞ビルの出入口に向かつた。途中で地下からもう一階分くらい下におりる。前日、大学への道順を教えてくれた父は、こう

「この地下道は土佐堀川の下をくぐってるから、説明した。一段深いところを通るんや」

中之島ふらふら青春記① 久坂部 羊

A hand-drawn illustration of a river flowing from the top left towards the bottom right, with orange ink outlines and a textured background.

気な私は、落ちてもギリギリだろうと思つていたところが、高校に届いた点数を見て驚いた。最低合格点に100点ほども足りなかつたのだ。当時の相場では、一年の浪人で上がる点数はせいぜい30点。私は焦つた。

試はなんとかパスしたが、好成績の生徒を集め  
る「A1」のクラスには入れなかつた。一年間  
で100点上げなければならぬ私は、いよいよ  
追い詰められた氣持になり必死で勉強した。  
ガリ勉は嫌いとか言つてゐる余裕はなかつた。  
当然、毎日がおもしろくない。私はずっと不機  
嫌な顔で、一日中だれとも口をきかない日も多  
かった。予備校からの帰り道も、みんなが通る  
裏道を通つて、肥後橋の駅まで歩いた。

當時、Y.M.C.A.予備校は土佐堀通二丁目にあり後ろを土佐堀川が流れている。裏口を出て、筑前橋を渡るとすぐ阪大の医学部である（今は市立科学館になっている）。だから私は、川を一本隔てて、志望校と横目に見ながら予備校に通つ

雨の日など、私はひとりになりたくて、よく休み時間に予備校の屋上に上った。トタン屋根にあたる雨音を聞きながら、眼下の土佐堀川をじっと眺める。灰色に煙った水面に向こうに、医学部の建物がぼんやり見渡せた。目の前の灰色一色の風景が、まるで自分の人生そのもののようと思え、たまらなく切ない気持になつたのだ。

朝日新聞ビルには、1階に広々とした書店があり、私はそこで月刊の映画雑誌『ロードショー』を買うのも楽しみだった。その年（1974年）は名画の当たり年で、『ベーパームーン』『バビオン

を今も覚えている。

予備校生のなかには、昼休みに阪大医学部の学生食堂に行く者もいた。別に学生証などなくとも、だれでも食べられるという。しかし、私は頑として行かなかつた。行くなら医学部に入つてからとという意地があつたからだ。

『ステイング』『エクソシスト』など今も有名な映画が次々公開された。私は予備校の帰りや、ときには授業をサボつて映画館に足を運んだ。S・マックイーン主演の『パピオン』など、「悪魔島」と呼ばれる絶海の監獄から脱出する主人公と、予備校という「監獄」にいる自分を重ね合わせ、異様に感情移入したりした。

はじめは不機嫌な顔で通つていた予備校も、

つ苦い思い出がある。朝日新聞ビルの地下に、「20円寿司」というのがあり、土曜日の帰りなどときどき食べに行つた。もつと前は「10円寿司

が人気だったが、時が流れ、倍の値段になつていたのだ。

一巻20円とはいえ、缶コーヒーが7円の時代で、月の小遣いが1500円の予備校生には、やはりぜいたくだつた。そこで私は、最後に思いつ

きり食べ納めをしようとした。ある土曜日、一人でカウンターに座った。マグロ、鯛、とり目穴子など、心おきなく注文して、四十巻食べた。

これでもう思い残すことはないと、メド800円也を払おうと思ったら、「1200円です」と

言われた。なんと、その週から一巻30円に値上がりしていたのだ。私は激しいショックを受けたが、どうすることもできず、予算オーバー

冬の晴れた日の午後で、朝日新聞ビルを出ると、西日がまぶしかった。その太陽に向かって歩いたのだが、心は対照的に暗かった。というのは、私が目指していた大阪大学の医学部は、私の成績では象が逆立ちしても入れないほどの難関だったからだ。担任の教師も親も級友も、だれもが無謀だと思つていただろう。しかし私は、「受けてみんとわからん」と強硬に主張し、根拏のない自信で受験を決めていたのだ。

高校のころの私は、ガリ勉の連中が大嫌いで、受験勉強の真っ只中にわざと教室を抜け出し、ひとり優雅な「散歩」を楽しんだり、自習に励む級友を尻目に、講堂のピアノでたつた一曲だけマスターした『エリーゼのために』を弾きまくつたりしていた。腹の中では、「勉強をするやつはアホや」と思つていたし、自分が思うようないい成績を取れないのは、学校教育がまちがつてゐるからだと信じ込んでいた。

入試は、そのころ堂島川を隔てて中之島のかいにあつた阪大病院の講義室で行われた。試験当日、私は奇跡の一発逆転に賭け、教師や級友たちをアッと言わすべく、懸命に答案用紙にかじりついた。そして、当てずっぽうとヤケつぱちのなぐり書きで、とにかく解答欄を埋めた。結果は、言うまでもなく不合格。それで僕

私は意地になつて、カフカの『城』やデカルトの『方法序説』といった小説や哲学書を読みあさり、今はなき梅田の「阪急ファイブ」あたりを徘徊して、5階の駄々堂で洋書を立ち読みしたり、骨董屋でナチスの勲章を手に入れたりして悦に入つていた。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。麻酔科、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』(幻冬舎文庫)でデビュー。現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒット作となりました。現在 北日本新聞ほかに「神の手」を連載中。

## 京都から中之島。そして田宮一郎と深草、島の端。

京都でずっと暮らしてきた俺にとつて中之島というのは地形的な島

ではなく、駅の名もしくは単なる地名に過ぎなかつた。そしてそれが本当に島だつたことを知つたのはこの「島民」という冊子が出来る少しう前にこれを編集している酒場のスパイ志望男とやり取りした時だつた。

俺「中之島の冊子なん、おもしろいな」

俺「なんで島民という題号なん? 沖縄に関係あるのか?」

俺「ほんでこれ、どうみん? しまたみ? なんて読むの?」

俺「ほんでも中之島でフェスティバルホールの辺か? わかつた淀屋橋の方やろ」

スパイ志望男「中之島で、への字の島なんですか」

俺「えつ島なん。口がへの字のへの字? なんでなん。島で中州か」

などという応酬のあとでも、中之島が島だと言うことを理解できなかつた。そしてその中之島にレールを延ばしたのが京阪電車だつた。

俺は京阪電車に乗つて育つた。四条、七条、藤森の駅が子供の頃のが明治34年(1901)から8年間に及んだ「滑稽新聞」発行の地。筆一本で世を渡つた反骨のジャーナリスト外骨は、中之島の橋を渡つた島民でもあり、その生涯で最も名高い伝説のメディアは、ここで書かれていたのだ

土佐堀通で、ふと石碑に目を留めた。

「宮武外骨ゆかりの地」。ガイコツつて、あの『滑稽新聞』の? 色めき立つて説明文を読むと、まさにここが

阪沿線だつた。物語は丹波橋で始まり、中書島で展開し、深草や師団街道や東福寺が絡み、四条、三条辺りでのたうち回るような湿気の多い小説だった。その京阪で中之島まで行けるようになつた今ならその

小説の続編はきっとロイヤルホテルやリーチバーと墨染や鳥羽街道が絡みあつていただろう(俺は深草、墨染、藤森という駅名が好きだ)。

とにかく京都でしか暮らしたことのない俺は中之島に島という感覺

1プロック1プロックにある建物が大きいので歩いても退屈だつた。間口が二間ぐらいの「ちやこちやした街並みが好きな俺には淋しかつた。けれども俺は知つていた。そういう都会な都心なところでは少し早足で靴音を立てるようになつた今ならその監督になつて。いやアクターか。田宮一郎か。大映だつたな。白い巨塔か。大阪だな。早足、一人、宵闇。目的地は目的のあと未定の地、未定の時間。そんなことを考えながらとうとう俺は中之島の西の端にたどり着いた。そしてそこには先端らしきものはなかつた。それで島な光景や景色や風情も中之島最西端という看板も表示もなかつた。

俺と中之島との長い付き合いはこうして始まつた。(つづく)

ばつきてー・いのうえ 錦市場の漬物店【錦・高倉屋】店主にして日本初の酒場ライター。『Meets Regional』誌ほかで名フレーズを連発している。最近は『酒場ライター養成講座』などを通じて、後身の育成にも力を注いでいる様子。



土佐堀通とあみだ池筋交差点に立つ石碑。下は伊丹市立美術館で開かれた「宮武外骨展」の図録と、滑稽新聞の記事が読める『滑稽漫画館』『面白半分』(いずれも河出文庫)。



が持てない。道路や高速道路がいくつも中之島を横断し交差して陸続きのようだし、島のビジュアルが見えないから仕方ない。

大陸の奴から見れば日本そのものが島だ。

でも島に近づいてきたら島も陸に見えるはず。そんなこ

とばかり考えていたらスパイ志望男が「ほな中之島に来

てみてください」と言うので三条から京阪電車に乗つた。

中之島駅に着いたらまずは西の端まで歩いてみようと思つた。島の先端まで行けば島を感じることが出来るはず、

俺は西へ西へと歩いた。しかし島なのに都会だつた。

赤い文字で「中之島へやつて来た男」と書かれています。その下に「バッキー井上」とあります。

中之島へやつて来た男

バッキー  
井上

其の一



# 雑誌ジャーナリズムの原点があつた。

## ナカノ・シマニア

取材・文／松本創(本誌)

【滑稽新聞】はその名の通り、おカタい新聞とは違つ。風刺やパロディ、下世話な噂をも盛り込んで、官僚や政治家、大企業といった権力をぶつた斬り、世相を笑い飛ばした。「癪癪と色氣」「過激にして愛嬌あり」の姿勢は、いわば雑誌ジャーナリズムの原点だ。

「雑多で猥雑で、良い意味の下品さもあって: 大阪ならではのメディアですよね。それを支持するコアな読者がいるのも大阪らしい」とは、検察、皇室、文壇までタブーなきスキヤンダル記事を連発し、5年前に惜しまれつつ休刊した『噂の真相』元副編集長の川端幹

さん。「現代の滑稽新聞」を目指した挿絵の多用、袋とじやパロディ広告、

激にして愛嬌あり」の姿勢は、いわば雑誌ジャーナリズムの原点だ。

外骨らの投獄5回、罰金刑16回、発行停止4回: と、すさまじい弾圧を受けたが、出所後すぐに獄中記を連載するなど、まるで屈しない。最盛期で8万部。当時の大阪らしい」とは、検察、皇室、文壇までタブーなきスキヤンダル記事を連発し、5年前に惜しまれつつ休刊した『噂の真相』元副編集長の川端幹

さん。「現代の滑稽新聞」を目指した

同誌では、新入りスタッフに必ず外骨

の仕事を読ませていたといつ。

『滑稽新聞』は過激な「筆誅」が災いし、

外骨らの投獄5回、罰金刑16回、発行

停止4回: と、すさまじい弾圧を受けたが、出所後すぐに獄中記を連載するなど、まるで屈しない。最盛期で8万部。当

時の大阪らしい」とは、検察、皇室、文壇までタブーなきスキヤンダル記事を連発し、5年前に惜しまれつつ休刊した『噂の真相』元副編集長の川端幹

さん。「現代の滑稽新聞」を目指した

駅売りなど、現代に通じる新しい手法が詰め込まれていたんです」と、先鋭

的な編集感覚を指摘する。川端さんも

「反権力ばかり言われるけど、あのビジ

ュアルセンスは70年代以降に統々と生

まれたサブカル誌のお手本ですよ」。

雑誌がバタバタと潰れ、ジャーナリズムが危機に瀕する時代。一介の島民

ライターとしては、あの外骨がシマを闊歩していたというのが、なんともうれしく、誇らしい。

【宮武外骨】(1867~1955)  
香川県出身のジャーナリスト、新聞史・世相風俗研究家。東京や大阪で多数の雑誌を創刊・廃刊。最も成功した『滑稽新聞』は月2回発行、タブロイド版20ページ程度。外骨の自宅兼「滑稽新聞社」に集まる数名で作っていたらしい。与謝野鉄幹の女性問題、ユスリ刑事や收賄署長などの警察聴聞、結核特効薬のニセ疑惑などを攻撃的に報じたが、173号を「自殺号」として廃刊。だが、直後に後継誌『大阪滑稽新聞』を創刊、1913年まで続いた。

人さん。「現代の滑稽新聞」を目指した

挿絵の多用、袋とじやパロディ広告、

激にして愛嬌あり」の姿勢は、いわば雑誌ジャーナリズムの原点だ。

外骨らの投獄5回、罰金刑16回、発行

停止4回: と、すさまじい弾圧を受けたが、出所後すぐに獄中記を連載するなど、まるで屈しない。最盛期で8万部。当

時の大阪らしい」とは、検察、皇室、文壇までタブーなきスキヤンダル記事を連発し、5年前に惜しまれつつ休刊した『噂の真相』元副編集長の川端幹

さん。「現代の滑稽新聞」を目指した

挿絵の多用、袋とじやパロディ広告、

激にして愛嬌あり」の姿勢は、いわば雑誌ジャーナリズムの原点

## 今月の【就職活動】

春になると増えるのは花だけではなく、島民予備軍の就活生たち。  
見事「職場の花」として島に咲き誇れるか。

取材・文／溝口さやか(本誌)



審査員／大平秀峰さん  
[NAKAGAWA1948 梅田桜橋店] 店長  
老舗らしい風格と肩の力が抜けるフレンドリーさを兼ね備えたテ  
ーラーにて、絶妙な採寸テクニックを誇る“ゴッドハンド”とし  
て知られる。今回はフレッシュに若い頃の佐野元春風コスプレで  
ご登場。[NAKAGAWA]と言えば淀屋橋WESTにも店舗があり、  
島民にもおなじみ。☎06-6348-5200

大阪工業技術専門学校  
建築士専科  
藤原扶実子さん(22)

住宅のチラシや「建物探訪」というテレビ番組が好きでよく見てたんです。ある日、番組内で建築士さんがどんな些細な部分にも思想をもって設計しているんだと知って、目が覚める思いでしたね。中之島には名建築が多いので歩いているだけで勉強になる。中之島でもそんな建築士を目指します!

これはもう教科書のような存在ですね。少しくらいご自分を出してみてはとも思いますが、基礎がしっかりできなければ崩すことはできないですからね。建築業界を目指すだけに、土台が大事、ビビは御法度ということなんでしょうね。



「住宅マーケターで  
設計だけでなく営業も」

中の島美術学院  
生島香里さん(20)

直接で見てもうためこのB3バッグに作品集を入れて持ち歩いてます。学校の課題なんですけど、例えばコーヒーのパッケージならシンプルに渋く、おもちゃの包装紙ならファンシーにと臨機応変がモットー。将来はワンパターンじゃなく、いい意味で裏切れるデザイナーになりたいです。

いやあ、大きなバッグですね。クリエイティブのお仕事ですし、もっとアクティブでも…と思いますが、この生真面目さはきっと好印象のはずです！ 今のような時代は自分で作って自分で売るという姿勢が必要なんですね。



「商品パッケージ  
デザイナー志望です」

上野麻希さん(28)

前職は天満橋にある会社で不動産のディベロッパーをしていたんですけど、一念起りで編集者を目指していました。先月まで堂島で編集者養成講座を受講していました。なかなか難しい業界なんですね。今はフリーライターをしながら出版業界への就職活動を同時進行中です。「島民」にも書かせてもらえないませんか？

春が来ましたね～（意味不明）。へアスタイルやメイクで女性っぽさも出しつつ、キャリアも感じさせる。今風の第二就職のお手本のような存在かもしません。就職は結婚に例えられますが、再婚はカジュアルにいきたいものですね。



「島民」編集者？！」



玉川愛理さん(28)

今年の1月から転職活動をはじめて10社目。以前も歯科助手をしていたんですけどいい縁に巡り会うまでがんばります。実は介護の仕事をしながらの活動で、今日は夜勤明けなんです。仕事&就活で足にタコができてしまったのでスニーカーを履いてるんですけど、北浜ではちょっと目立っちゃいます？

可愛らしい襟元と、アグレッシブな足元とのギャップが良いですねえ。どうやって人より抜きん出るかという思考の表れがこのスニーカーだと言えるでしょう。確かに中之島界隈を歩くにはスニーカーが一番。人が5分かかるところを3分で行ってしまおうという合理的精神！ きっと仕事もおできになることだと思いますよ。

# はやり唄に聞こえた、 大坂人の心意気。

上方講談師・旭堂南海の  
シマノネタ 第八回

5月は大阪人にとっては苦々しいと同時に、捲土重来を期する月でもありますと言つてもピンと来る人は皆無であろうが。

元和元年（1615）5月7日、徳川家康軍に大坂城は攻め落とされ、豊臣秀頼公は自刃され大坂は敗戦。それで苦々しいとなる。では、捲土重来はと言うと、表題のはやり唄がよくその意を表している。秀頼公も、大坂方の軍師・真田幸村も徳川軍によって滅ぼされたのではなく、共に燃えさかる城から抜け出られ、一旦、鹿児島へと落ち延びられたという唄である。秀頼公は大坂にとつては花。そして幸村はそのままの花を必死で守る鬼。

江戸時代の講談のタネ本を見ると、徳川家康が「なに、幸村が死んだといふのは影武者であつたのか！」本物の幸村は秀頼を連れてすでに逃れたとある。史実以前の、心意気の話である。事実、戦後、大坂は徳川の支配下に置かれたが、心の支えは「花

（江戸時代初期のはやり唄）

「花のようなる秀頼様を  
鬼のようなる真田が連れて  
退きものいたり加護（鹿児）島へ」

きょくどう・なんかい  
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業前（1989年）に三代目旭堂南海に弟子入り。1998年大阪市より「咲くやこの花賞」授賞得意ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天満宮靈験記」など。5月15～21日、鶴橋「雀のおやど」にて「講談毎日亭」を開催。ネタは坂本竜馬。

の支配下に置かれたが、心の支えは「花」と叫んだとある。史実以前の、心意気の話である。事実、戦後、大坂は徳川の支配下に置かれたが、心の支えは「花

（江戸時代の講談のタネ本を見ると、徳川家康が「なに、幸村が死んだといふのは影武者であつたのか！」本物の幸村は秀頼を連れてすでに逃れたとある。史実以前の、心意気の話である。事実、戦後、大坂は徳川の支配下に置かれたが、心の支えは「花

きょくどう・なんかい  
1964年、兵庫県加古川市生まれ。大阪大学卒業前（1989年）に三代目旭堂南海に弟子入り。1998年大阪市より「咲くやこの花賞」授賞得意ネタに「太閤記」「難波戦記」「浪花侠客伝」「天満宮靈験記」など。5月15～21日、鶴橋「雀のおやど」にて「講談毎日亭」を開催。ネタは坂本竜馬。

# トウミン月報

**淀川なが替えから  
今年で100周年**

昨年、中之島では初めて行われ、大いに話題となつたビーチバレー＝ワールドツアーや（女子）日本大会。大阪大学中之島センターの南西側に設けられる特設会場にて、今年も開催される。

選手、バレーボール元日本代表でビーチ

今年も  
やりまち!  
ゴーチバレー

「ビーチバレー ワールドツアーコンペティション2009」  
5月20日(水)～24日(日)  
【前売券】メインコート観戦券 S席  
5,000円／A席3,500円（高校生以下  
1,000円）※雨天決行。荒天中止の場合は払い戻し。  
3歳以下は無料だが、座席が必要な場合は有料。  
【当日券】入場券  
500円 ※当日のみ有効。予選が行われる  
20日を除きメインコートへは入場で  
きません。3歳以下は無料。問い合わせ  
／キヨードーチケットセンター☎06-  
7732-8888 ●最新情報は<http://www.mbs.jp/beachvolleyball/>

A collage of five photographs related to beach volleyball. In the top left, two female players are competing for a ball. In the top right, a female player in a green and white bikini is smiling and clapping. In the middle left, a female player in a green and white bikini is clapping. In the bottom right, a female player is in mid-air, reaching for a yellow beach volleyball. A large yellow diagonal banner across the center contains the text 'SWATCH FIVB WORLD TOUR 2009' and the KEIHAN logo. To the right of the banner, Japanese text reads '今年七中之島がア・ツ・イ!' (This year, the seven islands will be A-Tsu-I!).

来る6月1日は、島民そして大阪に住む人に於ては記念すべき日である。明治18年（1860）淀川の決壊により大阪は壊滅的な被害を受けた。世に言う「枚方切られ」で、大阪市内の大部分が水没し、中之島の浸水は実に2メートルに達した。その知らせを聞いた大橋房太郎が、淀川改修工事を進めるべく11年に亘つて尽力。100年前の明治42年6月1日によろやかに淀川付け替え工事が竣工した。川の街・大阪の発展は、これを抜きにしては語れない。そんな大橋の偉業を伝めるべく、さまざまなイベントが予定されている。（大迫 力・本誌）

●5月31日(日) サー＆中之島の催し「なにわ自慢 おおさか水まちめぐり」  
放出方面の大橋房太郎関連のスポットを巡り、中央公会堂に至るコースや淀川・大川沿  
いの史跡を巡る4コースが。5月22日(金)までに申し込みを。参加料500円 問い合わせ  
／大阪市コミュニティ協会 06-6125-3311 <http://hito-machi.org>

- 6月1日(月) 淀川付替え100周年記念シンポジウム  
淀川付替え工事とこれに尽力した大橋房太郎に光を当て、大阪のまちづくりについて考えるシンポジウム。また上方講談師・旭堂南陵さんによる講談「大橋房太郎一代記」も楽しみ。7:00PM～9:00PM 大阪市中央公会堂小ホール 参加料500円 問い合わせ／水都の会 [fujii@excite.co.jp](mailto:fujii@excite.co.jp) 申し込み／<http://uemachi.cotocoto.jp/> 上町台地.cotocoto  
100周年記念シンポジウムへ

- CD「MIO 濑水都ものがたり」  
大橋房太郎の曾孫にあたるシャンソン歌手の中村扶実さん  
川にちなんだCDを作成。「音をたてて猛烈狂うときもある  
／川はここに生きている」との歌詞に、大橋への愛がこ  
っている。聴いてみたい！　と思ったあなた、中村さん  
HPへアクセス。<http://www.fumi-nakamura.com/>



バックナンバー  
お譲りします。

昨年8月に創刊した『月刊島民』。大きな支持をいただいていることは、「バックナンバーありますか?」とダイビル内にある月刊島民プレスを訪ねてくる方々の多さからも伝わってきます。さて、そのバックナンバーにつきまして、1冊につき10

0円をいただくこととなりました。号を重ねていくうちに保管用のスペースが必要となり、そのための維持管理費を負担していただく形です。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願ひします。お問い合わせは左記の電話番号まで。

# 「もつと」橋の話をしよう！

「橋を楽しむための場所」と考えれば  
中之島は世界でも有数の橋天国だ。  
歴史から鑑賞のポイントまで、  
「橋トーグ」をたっぷりお届け。  
毎日橋を渡る島民必見の特集です！

●『月刊 島民』VOI・11は2009年6月1日発行です！

**新連載予告  
長友啓典「ワタクシ、こういう者です！」**

名刺はその人(店)そのものなんですよ。

アートディレクターの長友啓典さんは、今はその活動の拠点を東京としているが、阿倍野出身のベタベタの大坂ッ子。今も中之島の企業のC.I.や、FM802のクリエイティブ・ディレクターとして、関西との関わりも深い。そんな長友さんは、多くの著名人や店舗の名刺デザイナーとしての仕事も大切にしている。

「FM802が開局する時にね、みんなと飲んでいたら、実に様々な夢があるって、統一の名刺なんていらんやん、と思ったね。みんながそれぞれの802感を持っているんだから、全部違うデザインにしました。会社の総務の人は大変やったみたいで（笑）」

誰かに渡して、初めてその機能を果たす名刺。いわばコミュニケーションの最初の一歩となるものである。だからこそ、配りたい。大切に持つておきたい…そんなデザインを目指すのだという。「名刺を作らせてもらう時には、まず面談します。お医者さんの問診みたいなもん。その人の調子や夢を聞くんです。その人の夢をデザインにおこしていくのが楽しい」

また、長友啓典デザインの名刺は、必ず成功する（繁盛する）というジンクスを持つ“招福名刺”としても有名だ。「先日、ある数学学者がふらりと事務所に現れて、名刺を作ってくれと頼まれました。後で聞くと、東大の有名な教授やった。実に面白い間診をさせてもらいました」。

さて、次号から長友啓典が、中之島の様々な人やモノの名刺を勝手に作るという、夢のコラボ連載がスタートする。「まずははじめは、島民の名刺がええなあ。編集部だけとちゃうで。読んでる読者もみんな含めた“我ら島民”名刺から考えよかなあ」。

さて、どんな楽しい名刺が出来上がるのか？ こうご期待。



ながとも・けいて

1939年大阪生まれ。1964年桑沢デザイン研究所卒業。日本デザインセンター入社。1969年黒田征太郎とK2設立。エディトリアル、各種広告を手がけるほか、多数の小説に挿絵、エッセイを連載。自身が手がけた名刺デザインをまとめた『成功する名刺デザイン』(共著・講談社)も発売中。

「ぜひあなたの名刺を」「あの場所を擬人化して名刺を作ったら面白い」などのリクエストを募集します。  
あなたの作ってほしい名刺のプランをお寄せ下さい！ [uketsuke@140bjp.com](mailto:uketsuke@140bjp.com)



いつもの景色をぬけて、  
いつか行きたい風景の中へ。



# 駅の先、旅のはじまり

歴史と、自然と、ひとの温もりが待っている、沿線の旅へ。京阪電車に乗って。

酒蔵をめぐり幕末の面影に酔う



世界に誇る絶景の舞台へ



お茶と文学の香りにつつまれる



建仁寺

華やかな平安京の世界を感じて



祇園、巽橋付近

京阪の  
おけいはん  
るん。

okei-han

検索

[www.okei-han.net](http://www.okei-han.net)